

(2) 事業者意識調査結果

■ 調査概要

調査対象	100 事業所(無作為抽出)
調査期間	令和3(2021)年6月16日～6月28日
調査方法	郵送による発送・回収、WEBによる回答
回収結果	56件(56.0%)

✳ 分野別、産業別環境の重要度

環境について「地球環境」、「生活環境」、「自然環境」、「快適環境」、「学習・活動」の重要度について質問しました。結果の概要は下表に示すとおりです。

■ 分野別環境の重要度の概要

分 野	概 要
地球環境	・ 第1次産業では回答数が2件と少ないが、各項目で重要度が高い傾向にあります。
生活環境	・ 「10.ごみの減量化やリサイクルの推進」・「13.不法投棄の取り締まり」は重要度が高く、対策の推進が必要と言えます。 ・ 第1次産業で最も重要度が高く、次いで第3次産業が高い傾向にあります。
自然環境	・ 総じて重要度が高い傾向にあり、各対策の推進が必要と言えます。 ・ 第1次産業では回答数が2件と少ないが、各項目で重要度が高い傾向にあります。
快適環境	・ 「23.自然災害(風・水・雪害)に強いまちづくり」は重要度が高く、対策の推進が必要と言えます。 ・ 第1次産業では回答数が2件と少ないが、各項目で重要度が高い傾向にあります。
学習・活動	・ 第1次産業では回答数が2件と少ないが、各項目で重要度が高い傾向にあります。

【産業・業種毎の回答数】

産業	番号	業種	回答数	
第1次産業	1	農林漁業	2	2
第2次産業	2	建設業	9	25
	3	製造業	16	
第3次産業	4	電気、ガス、熱供給、水道業	1	29
	6	運輸業	2	
	7	卸売、小売業	14	
	8	金融、保険業	1	
	10	学術研究、専門・技術サービス業	1	
	11	宿泊業、飲食サービス業	1	
	12	生活サービス関連業、娯楽業	2	
	14	医療、福祉	2	
	15	複合サービス事業	1	
	16	サービス業(他に分類されないもの)	4	

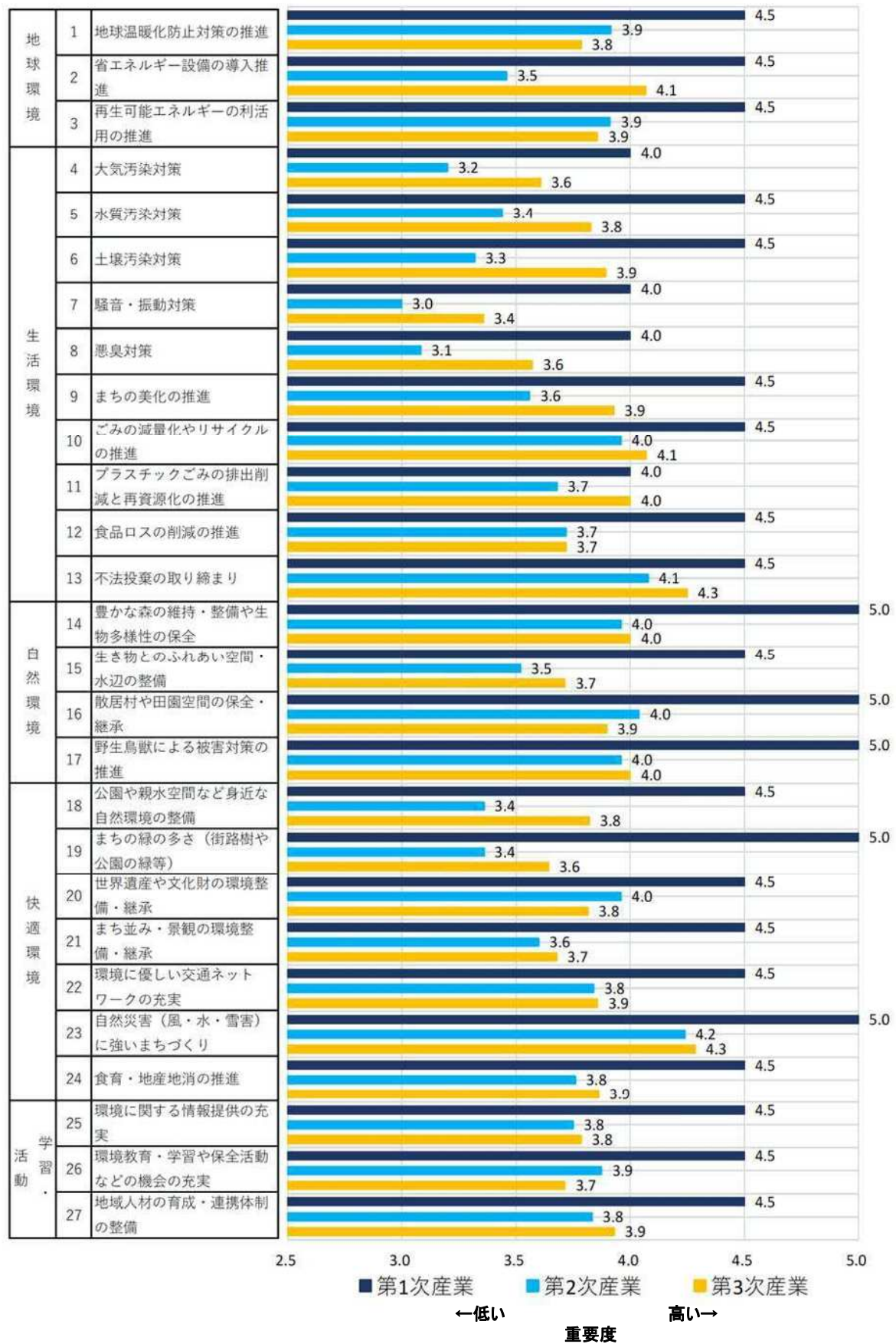
✳ 産業別の取組状況

概ね各産業での取組状況の度合いは類似している。

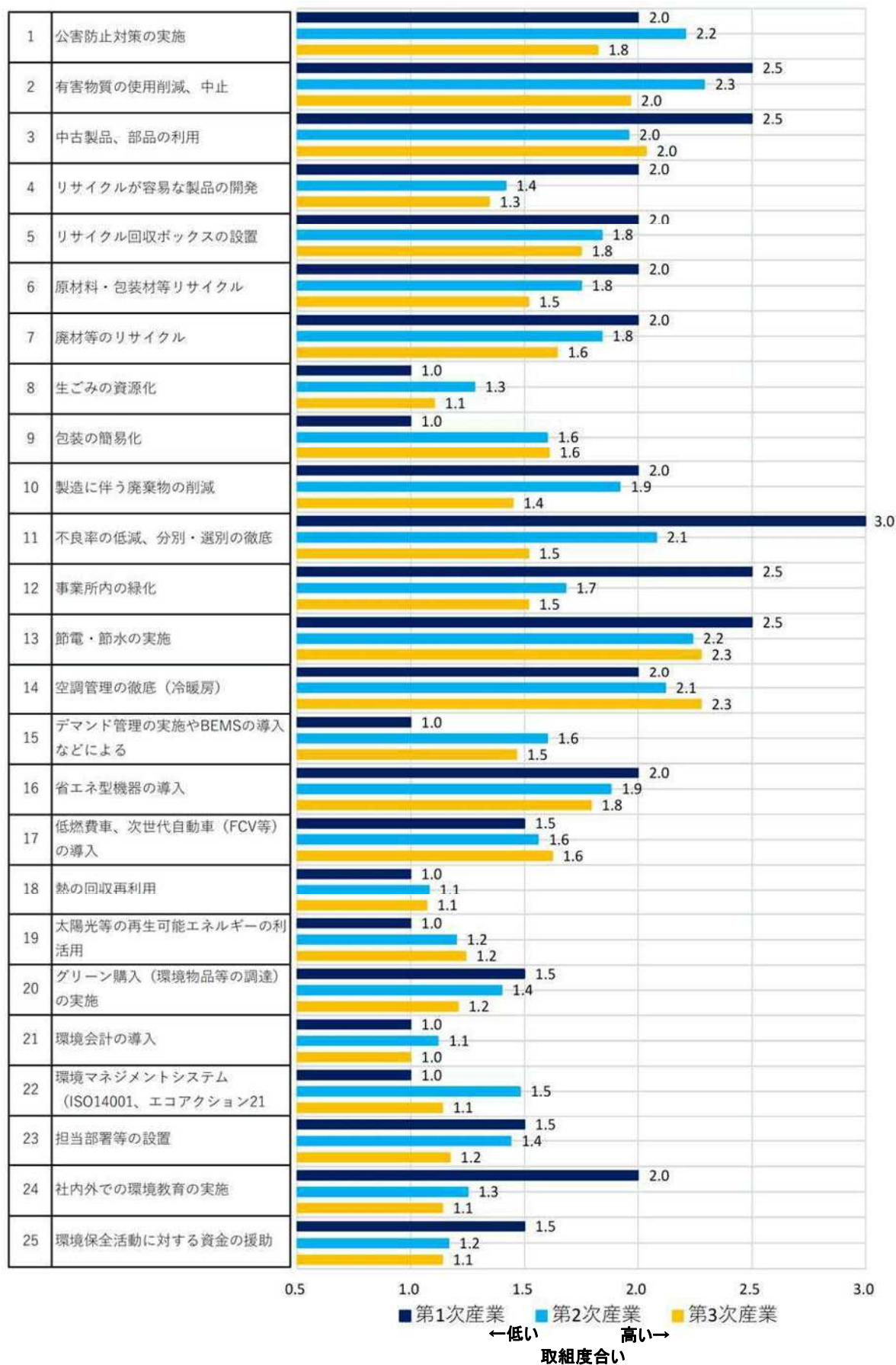
第1次産業では、「11.不良率の低減、分別・選別の徹底」が最も高く、次いで「2.有害物質の使用削減、中止」「3.中古製品、部品の利用」「12.事業所内の緑化」「13.節電・節水の実施」が高くなっている。

第2次産業では、「2.有害物質の使用削減、中止」が最も高く、次いで「1.公害防止対策の実施」「13.節電・節水の実施」が高くなっている。

第3次産業では、「13. 節電・節水の実施」「14.空調管理の徹底(冷暖房)」が最も高く、次いで「2.有害物質の使用削減、中止」「3.中古製品、部品の利用」が高くなっている。



環境の重要度



取組状況

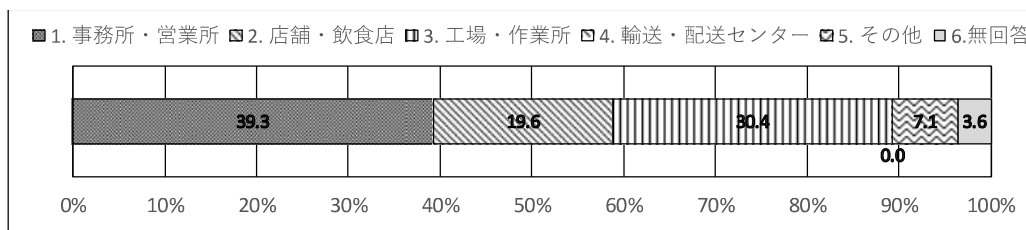
＊ 回答者の属性

※無回答には無効票扱いしたものを含みます。

〔 問 1 〕 貴事業所のことについて教えてください。【各問に対し、○を1つ】

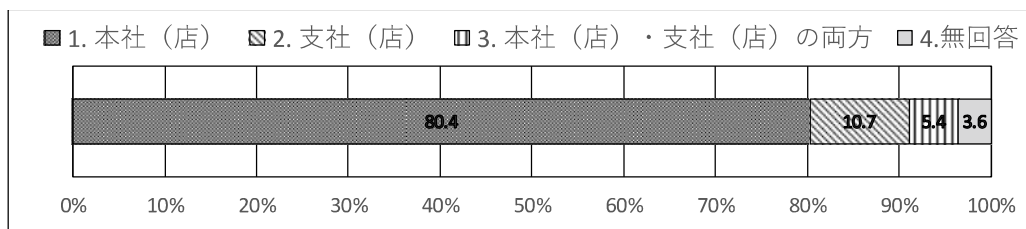
1. 事業所の種類

「1.事業所・営業所」の割合が最も多く39.3%、次いで「3.工場・作業所」の割合が多く30.4%となっています。



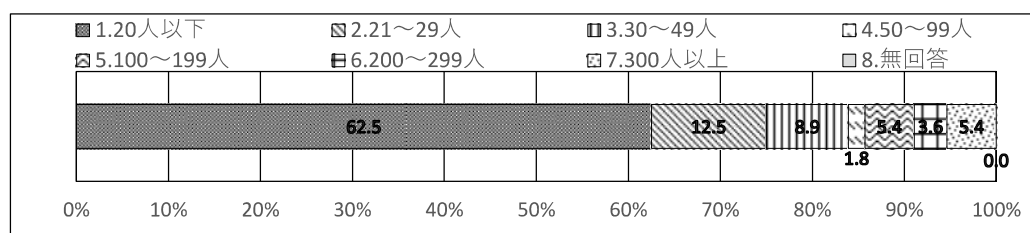
2. 本社(店)、支社(店)の区分について

「1.本社(店)」が80.4%と半数以上を占めています。



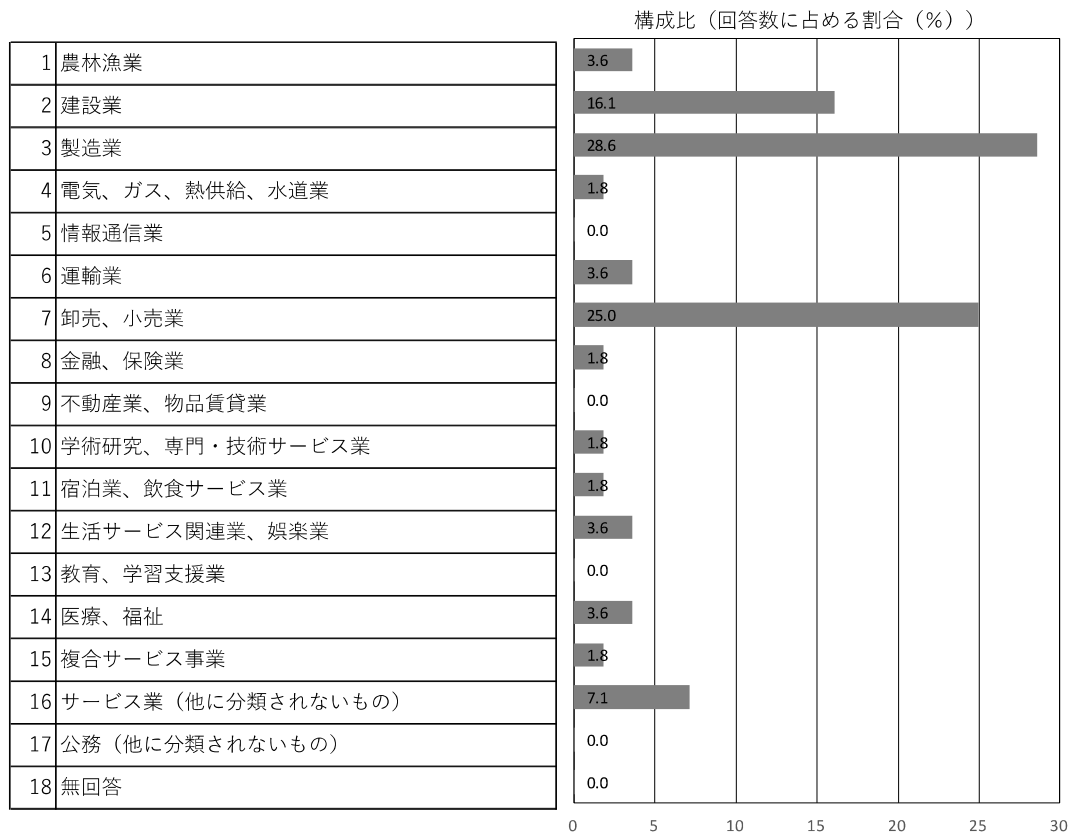
3. 貴事業所の従業員の規模

「1.20人以下」が62.5%と半数以上を占めています。



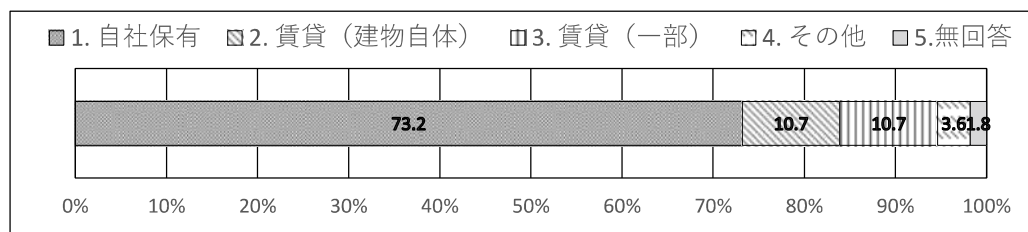
4. 事業所の業種(兼業の場合、売り上げの割合が高いもの)

上位3位までの項目は、「3.製造業」の28.6%、「7.卸売、小売業」の25.0%、「2.建設業」の16.1%となっています。



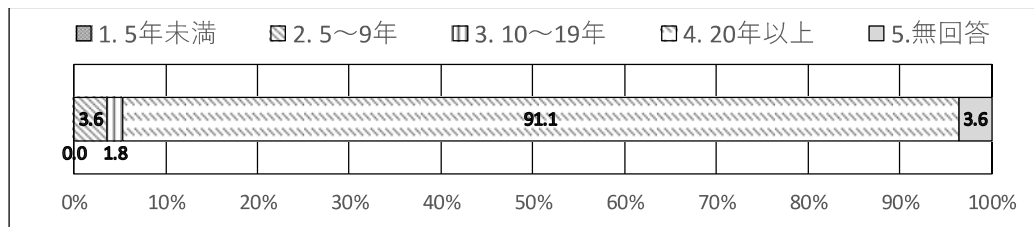
5. 事業所の所有形態

「1.自社保有」が73.2%と半数以上を占めています。



6. 市内での営業年数

「4.20年以上」が91.1%と大半を占めています。

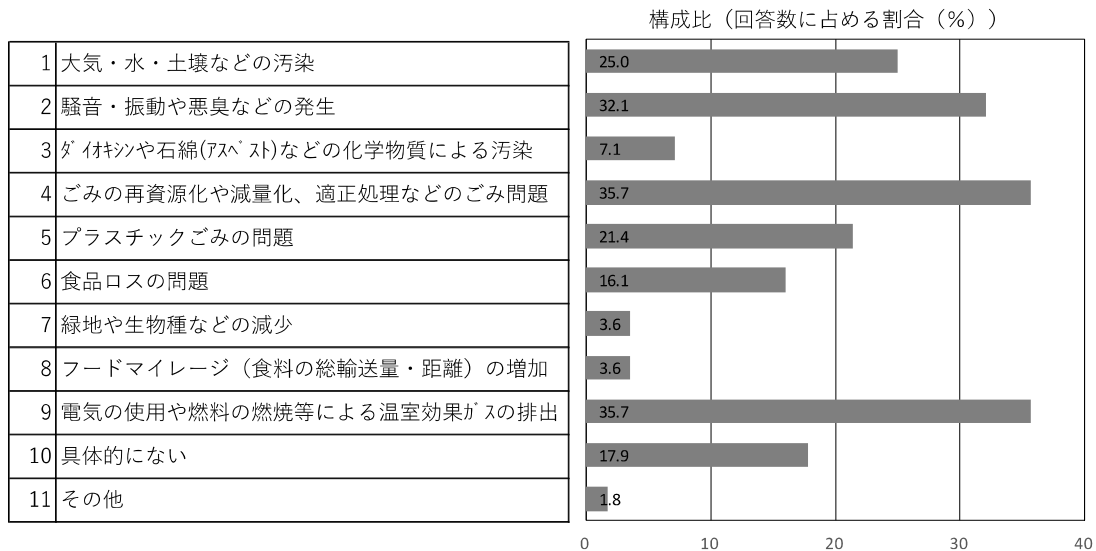


＊ 調査結果

※無回答には無効票扱いしたものを含みます。

〔問2〕貴事業所の事業活動が及ぼす可能性のある環境問題はどれですか。【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「4.ごみの再資源化や減量化、適正処理などのごみ問題」と「9.電気の使用や燃料の燃焼等による温室効果ガスの排出」の35.7%、「2.騒音・振動や悪臭などの発生」の32.1%となっています。



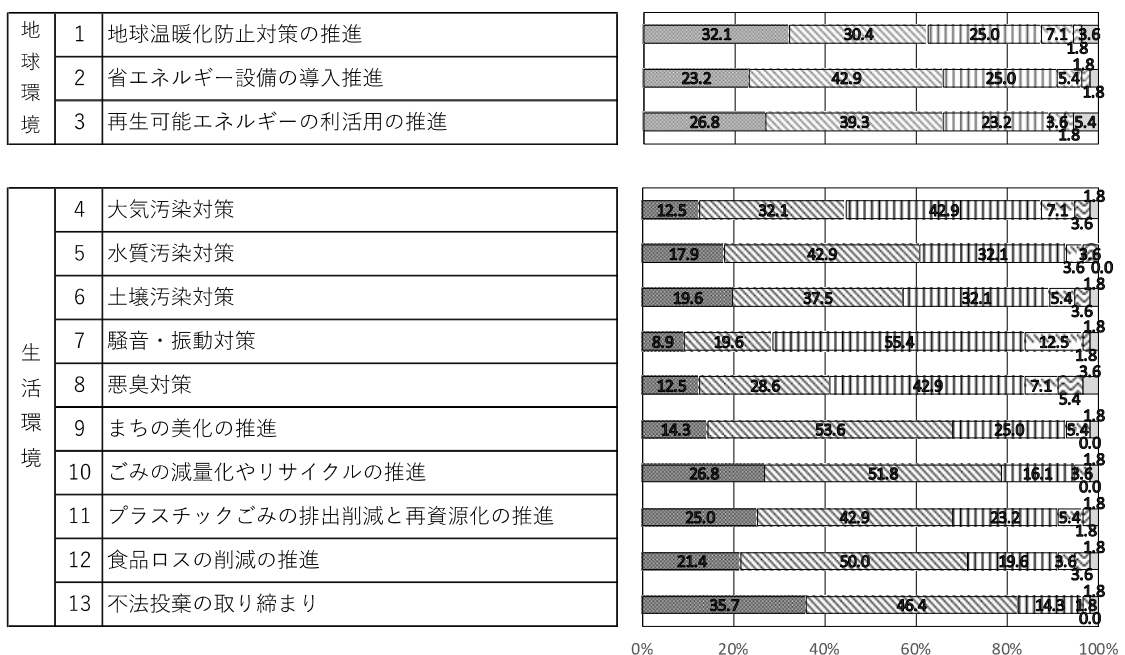
〔問3〕南砺市で今後、どのような環境施策の重要性が高いと思いますか。【各問に対し、○を1つ】

重要性が高いと感じている割合の傾向

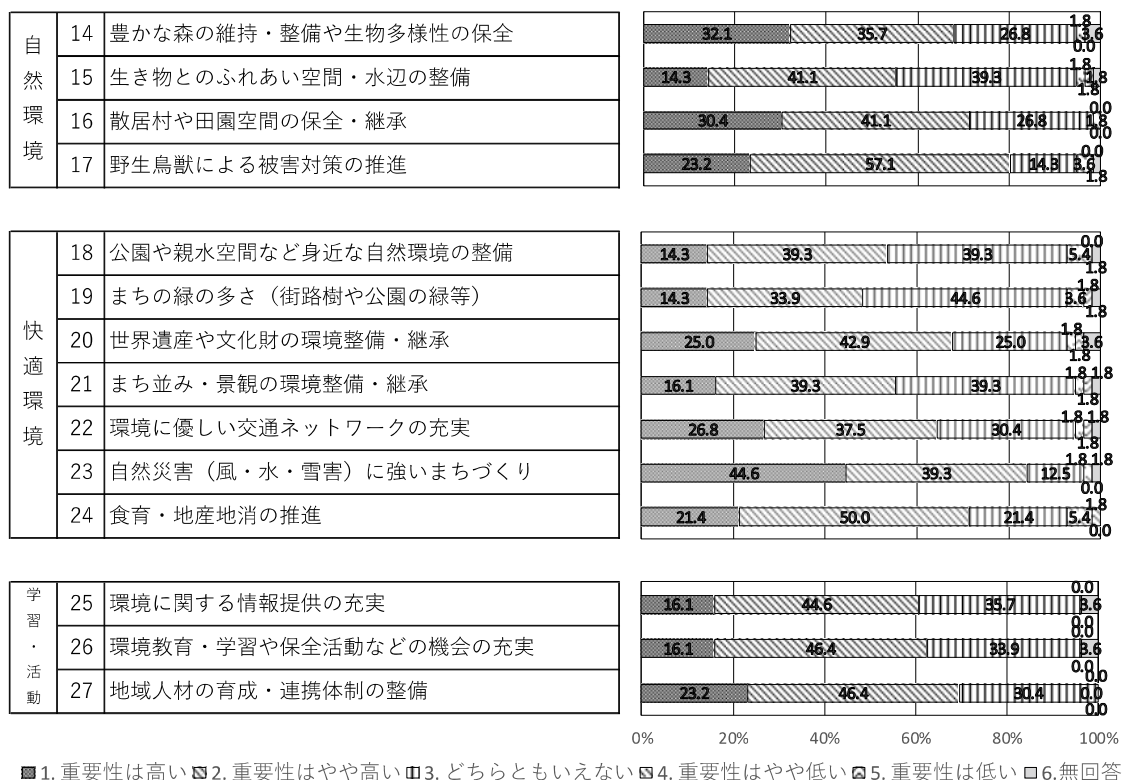
重要性が高いと感じている割合（「重要性が高い」と「重要性はやや高い」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「23.自然災害（風・水・雪害）に強いまちづくり」の83.9%、「13.不法投棄の取り締まり」の82.1%、「17.野生鳥獣による被害対策の推進」の80.3%となっています。

重要性が低いと感じている割合の傾向

重要性が低いと感じている割合（「重要性が低い」と「重要性はやや低い」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「7. 騒音・振動対策」の14.3%、「8. 悪臭対策」の12.5%、「4. 大気汚染対策」の10.7%となっています。



■ 1. 重要性は高い ■ 2. 重要性はやや高い □ 3. どちらともいえない □ 4. 重要性はやや低い □ 5. 重要性は低い □ 6. 無回答



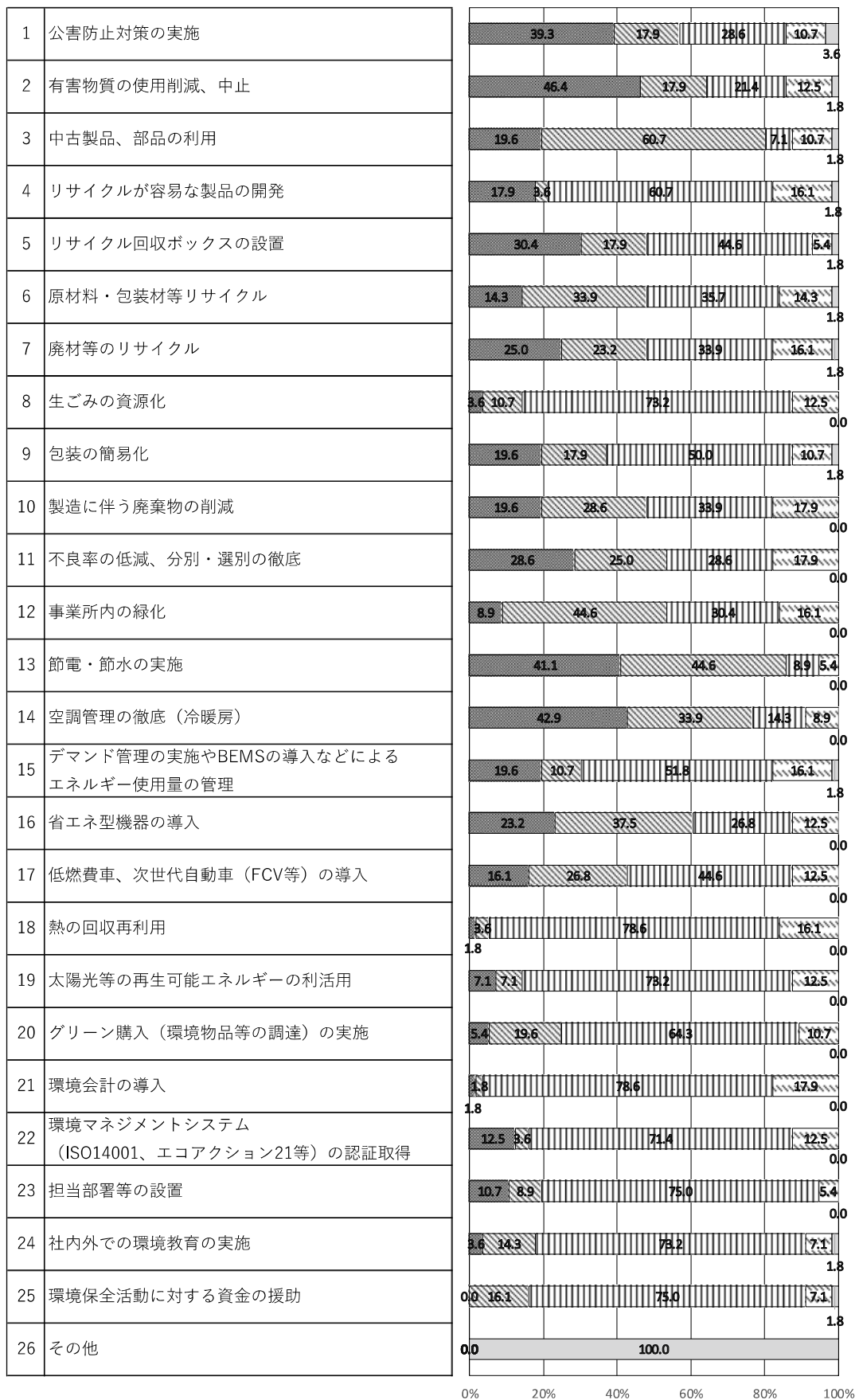
【問4 - ①】貴事業所は次の事柄にどの程度取り組まれていますか。【各内容に対し、○は1つ】

実践している割合の傾向

実践している割合（「いつも取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「13.節電・節水の実施」の85.7%、「3.中古製品、部品の利用」の80.3%、「14.空調管理の徹底（冷暖房）」の76.8%となっています。

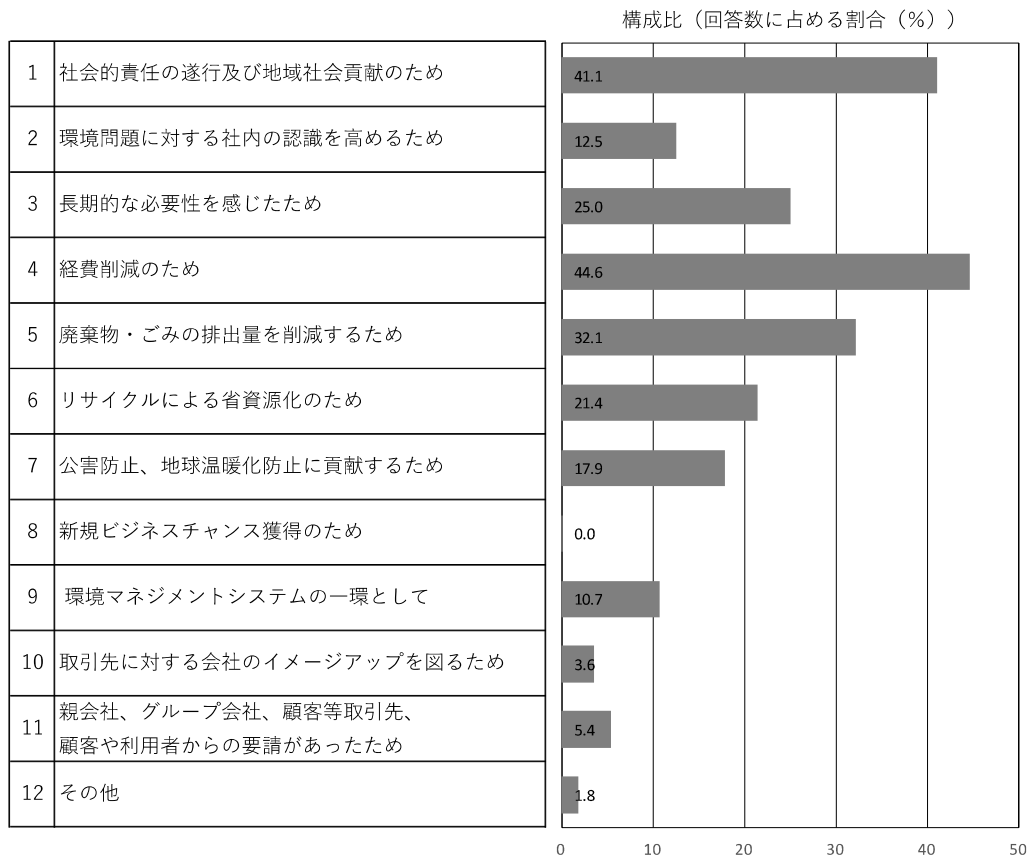
実践していない割合の傾向

実践していない割合（「取り組んでいない」割合）が高い上位3位までの項目は、「10.製造に伴う廃棄物の削減」、「11.不良率の低減、分別・選別の徹底」、「21.環境会計の導入」の17.9%となっています。



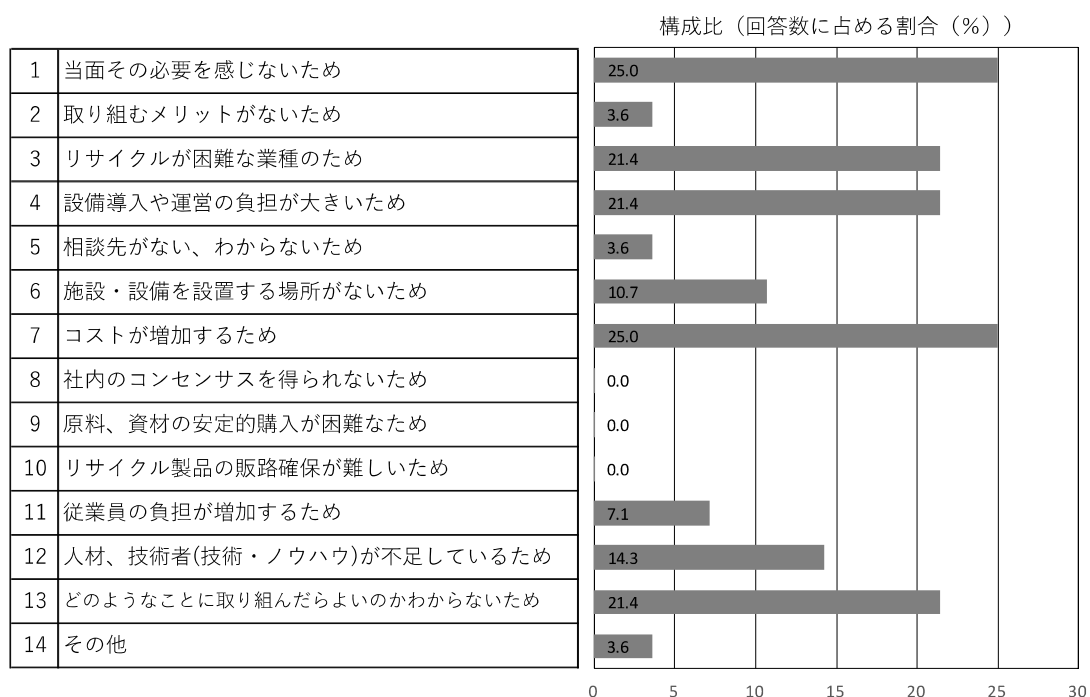
〔問４－②〕〔問４－①〕で「いつも・ときどき取り組んでいる」の内容があった事業所にお尋ねします。
環境保全活動に取り組む動機はどれですか。【○は3つまで】

上位3位までの項目は、「4.経費削減のため」の44.6%、「1.社会的責任の遂行及び地域社会貢献のため」の41.1%、「5.廃棄物・ごみの排出量を削減するため」の32.1%となっています。



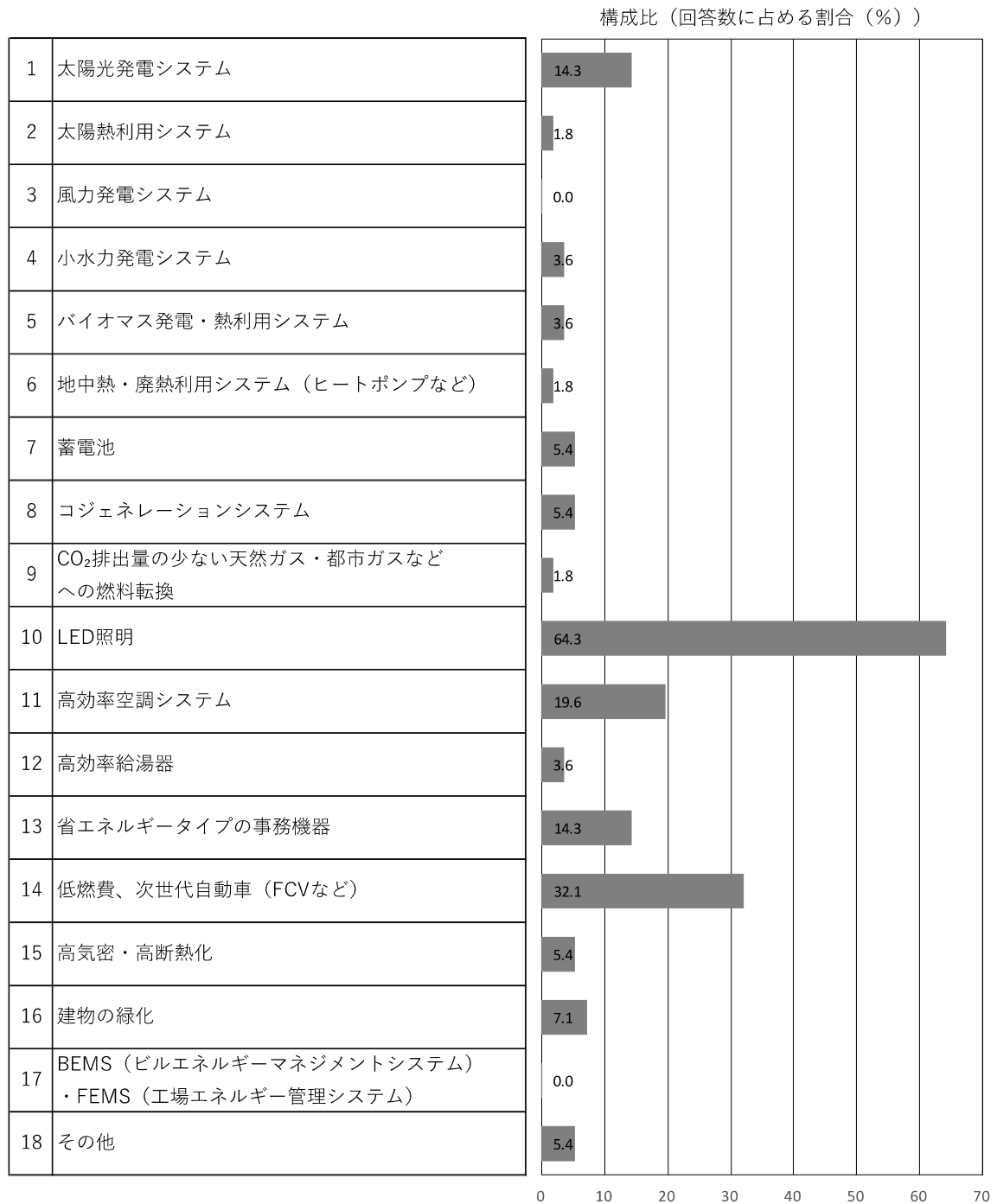
〔問４－③〕〔問４－①〕で「取り組んでいない」の内容があった事業所にお尋ねします。
「取り組んでいない」主な理由はどれですか。【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「1.当面その必要を感じないため」、「7.コストが増加するため」の25.0%、「3.リサイクルが困難な業種のため」等の21.4%となっています。



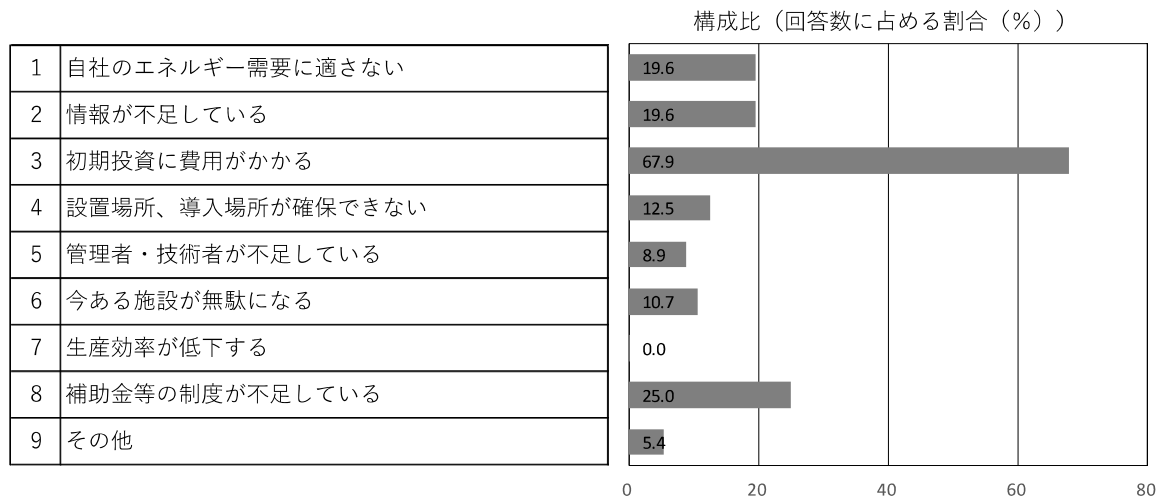
[問4 - ④] 下記の環境負荷の少ない設備等の中で導入を考えているものはどれですか。
【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「10.LED照明」の64.3%、「14.低燃費、次世代自動車（FCVなど）」の32.1%、「11.高効率空調システム」の19.6%となっています。



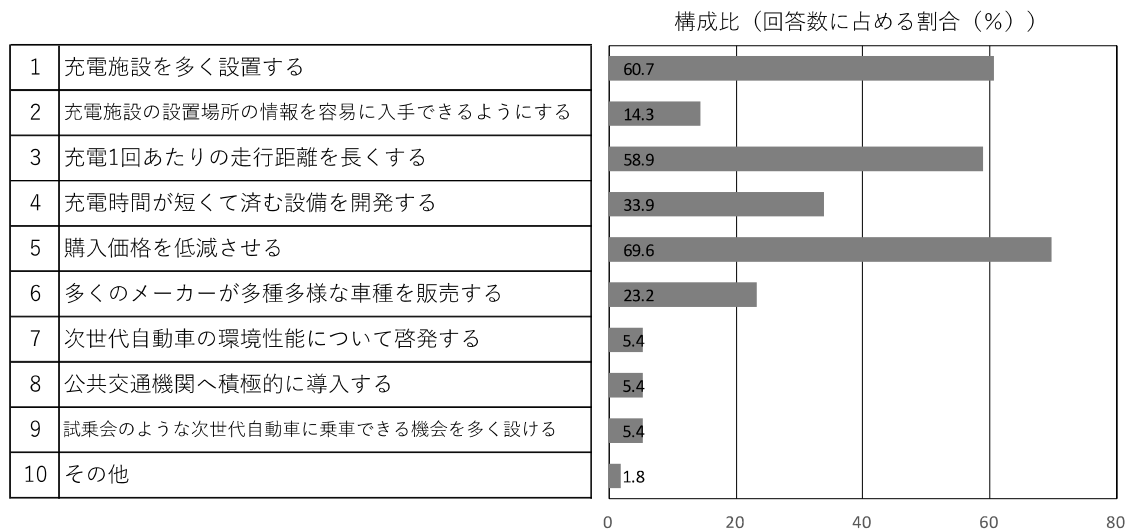
〔問4 - ⑤〕環境負荷の少ない設備等の導入の際の課題はどれですか。【〇はいくつでも】

上位3位までの項目は、「3.初期投資に費用がかかる」の67.9%、「8.補助金等の制度が不足している」の25.0%、「1.自社のエネルギー需要に適さない」等の19.6%となっています。



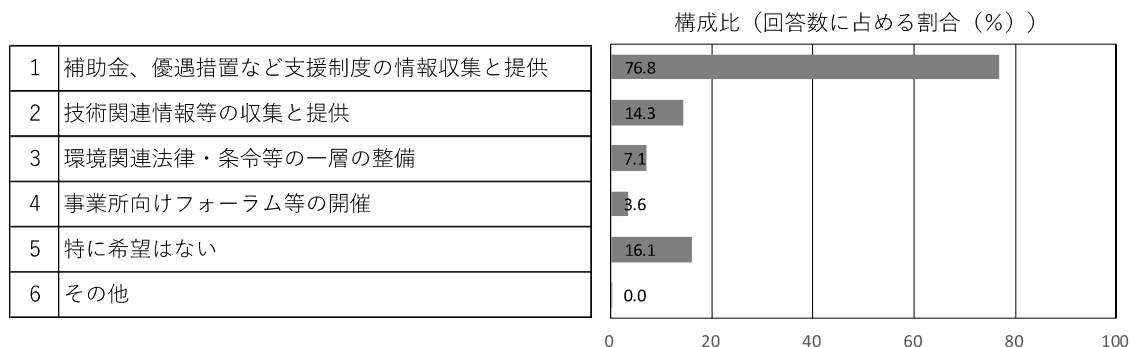
〔問4 - ⑥〕貴事業所において、商用車の脱炭素化（電気自動車への買換え等）を進める際に、必要と考えるものはどれですか。【〇はいくつでも】

上位3位までの項目は、「5.購入価格を低減させる」の69.6%、「1.充電施設を多く設置する」の60.7%、「3.充電1回あたりの走行距離を長くする」の58.9%となっています。



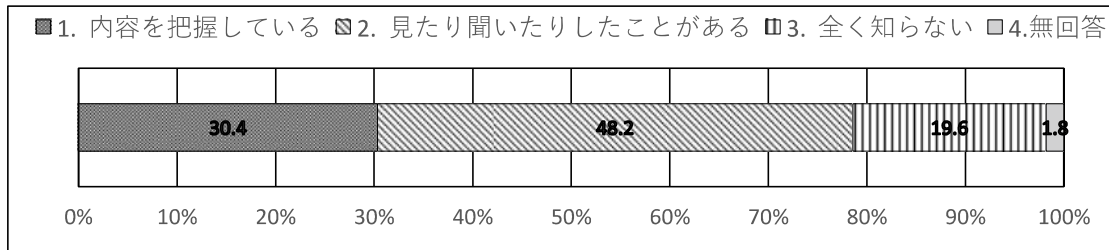
〔問4 - ⑦〕環境保全活動を進めるにあたって、市に期待する支援はどれですか。【〇はいくつでも】

上位3位までの項目は、「1.補助金、優遇措置など支援制度の情報収集と提供」の76.8%、「5.特に希望はない」の16.1%、「2.技術関連情報等の収集と提供」の14.3%となっています。



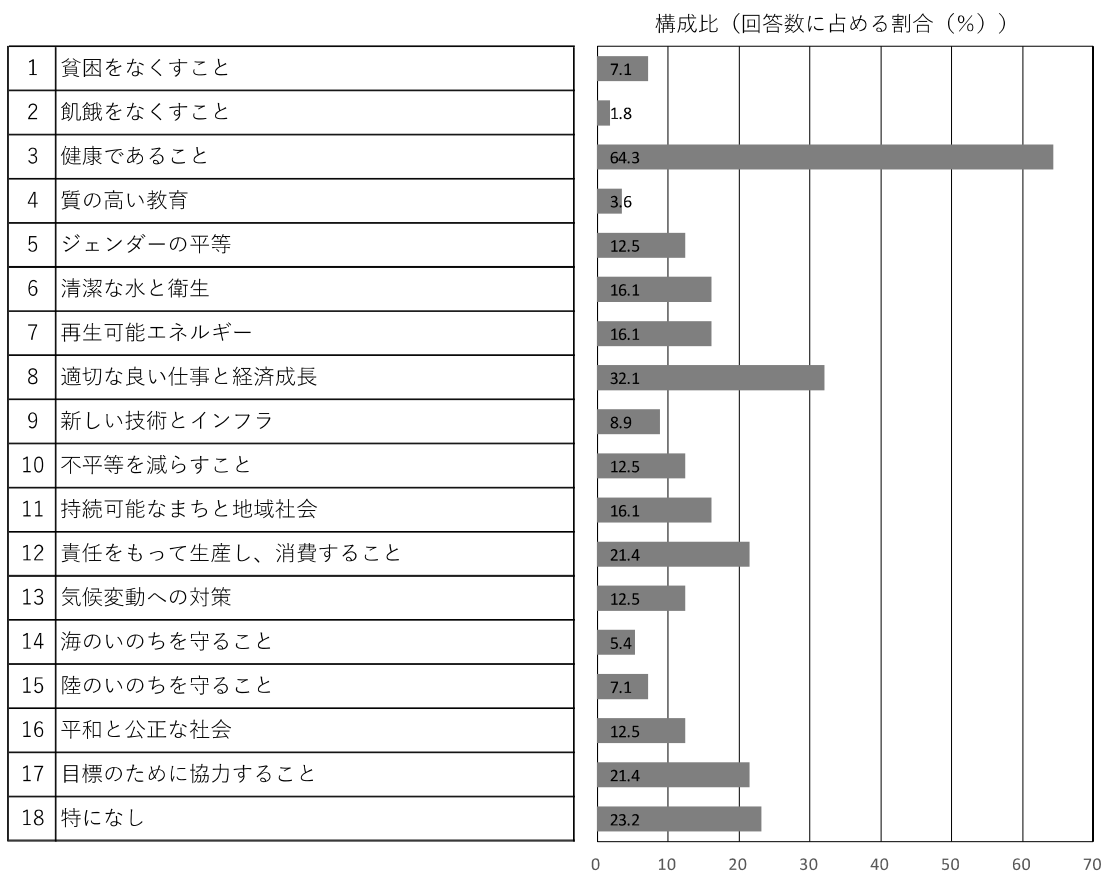
〔問5 - ①〕平成27年（2015年）の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」をご存知ですか。【1つだけに○】

「1.内容を把握している」が30.4%とやや多い傾向にあります。



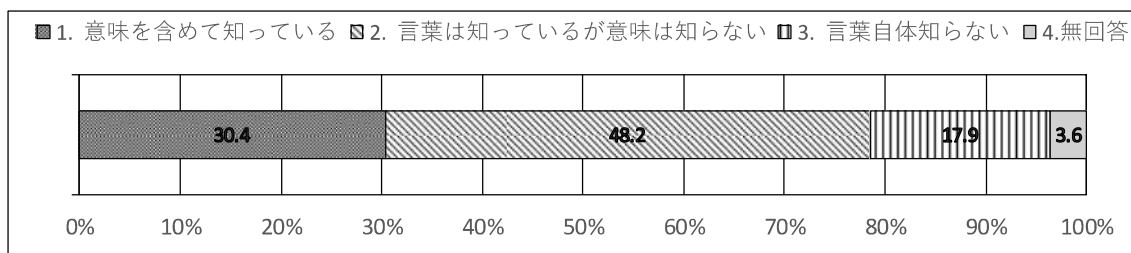
〔問5 - ②〕持続可能な開発目標（SDGs）には下記の17の目標が定められていますが、貴事業所がこれの中で取り組んでいる項目はどれですか。【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「3.健康であること」の64.3%、「8.適切な良い仕事と経済成長」の32.1%、「18.特になし」の23.2%となっています。
半数を超える目標は1つとなっています。



〔問6 - ①〕気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。貴事業所はこの「適応」という言葉をご存知ですか。【1つだけに○】

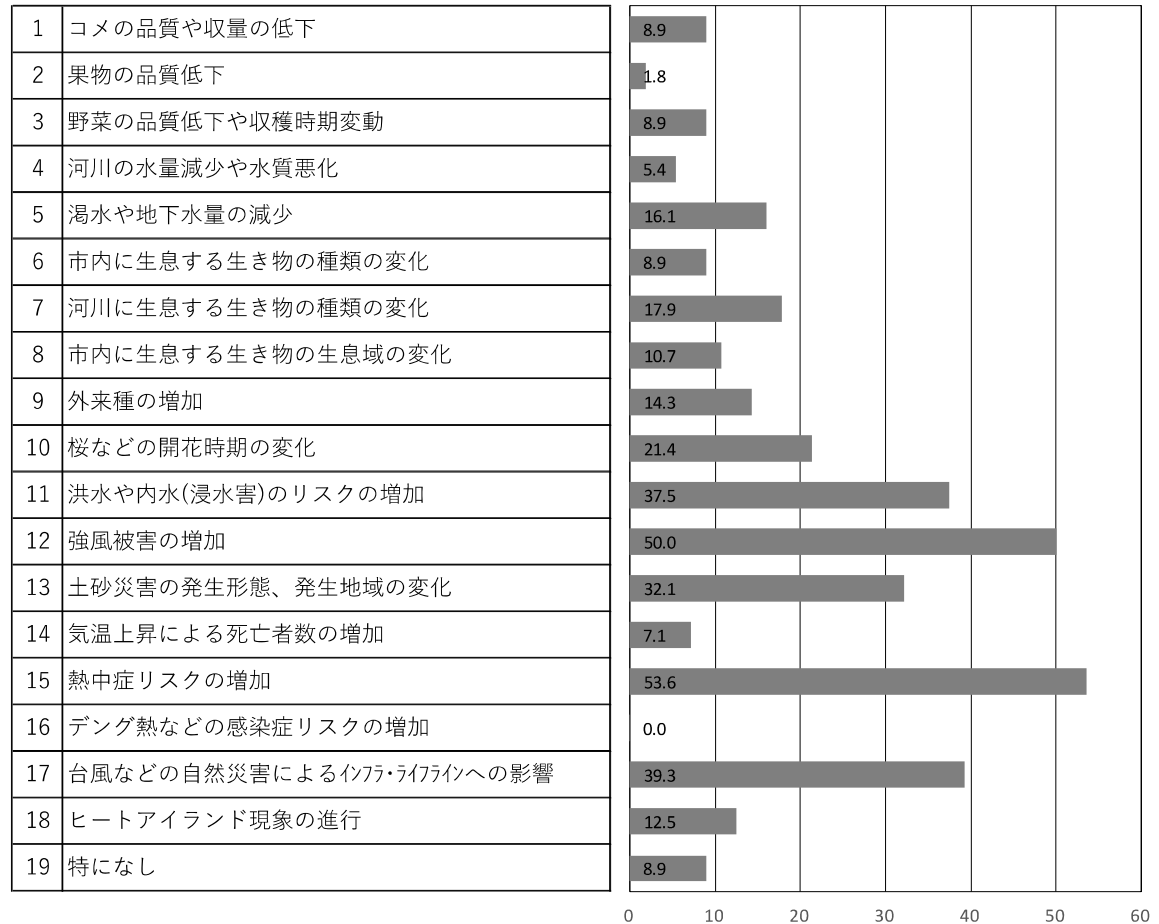
「2.言葉は知っているが意味は知らない」が最も多く、48.2%を占めています。



[問6 - ②] 南砺市において、気候変動の影響がすでに現れていると感じる項目はどれですか。
【〇はいくつでも】

上位3位までの項目は、「15. 熱中症リスクの増加」の53.6%、「12. 強風被害の増加」の50.0%、「17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」の39.3%となっています。

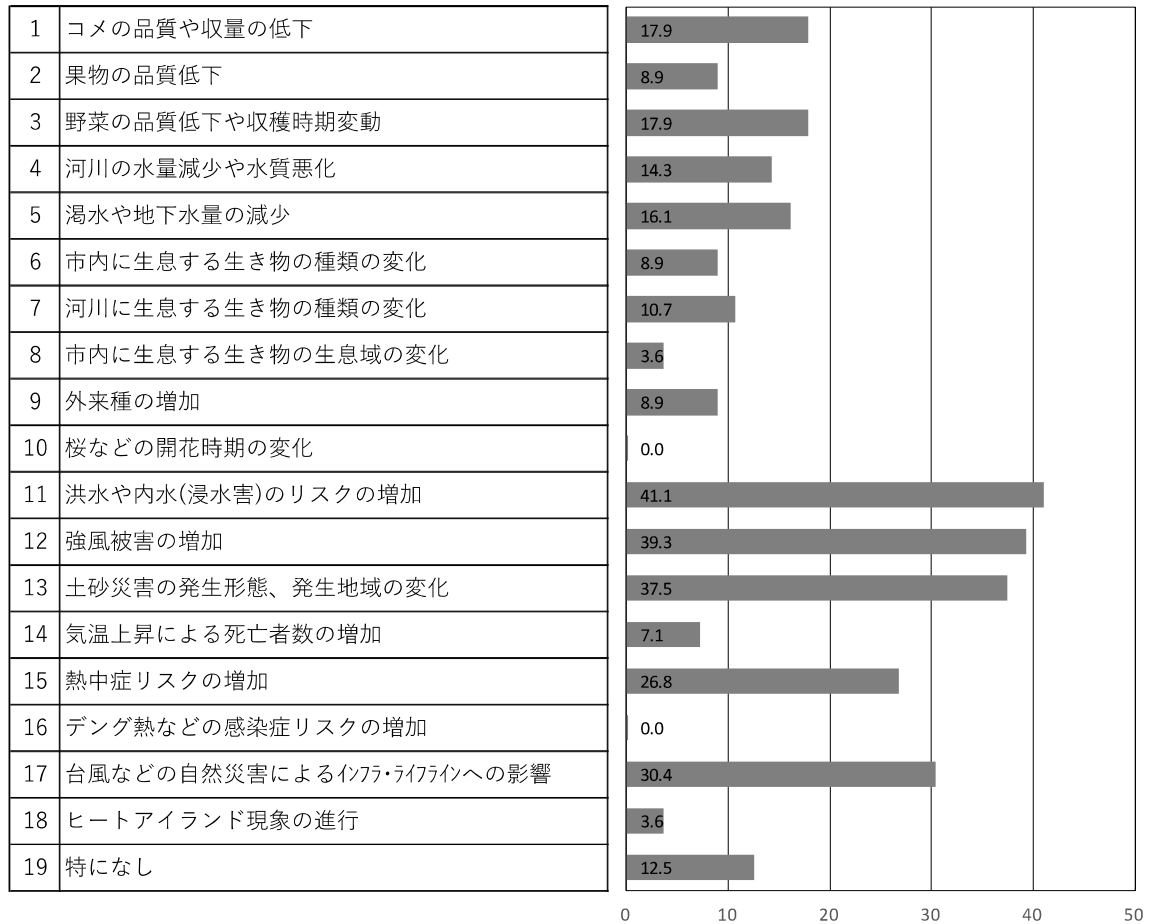
構成比（回答数に占める割合（％））



[問6 - ③] 南砺市において、気候変動の影響が大きく、今後対応策が必要な項目はどれですか。
【〇はいくつでも】

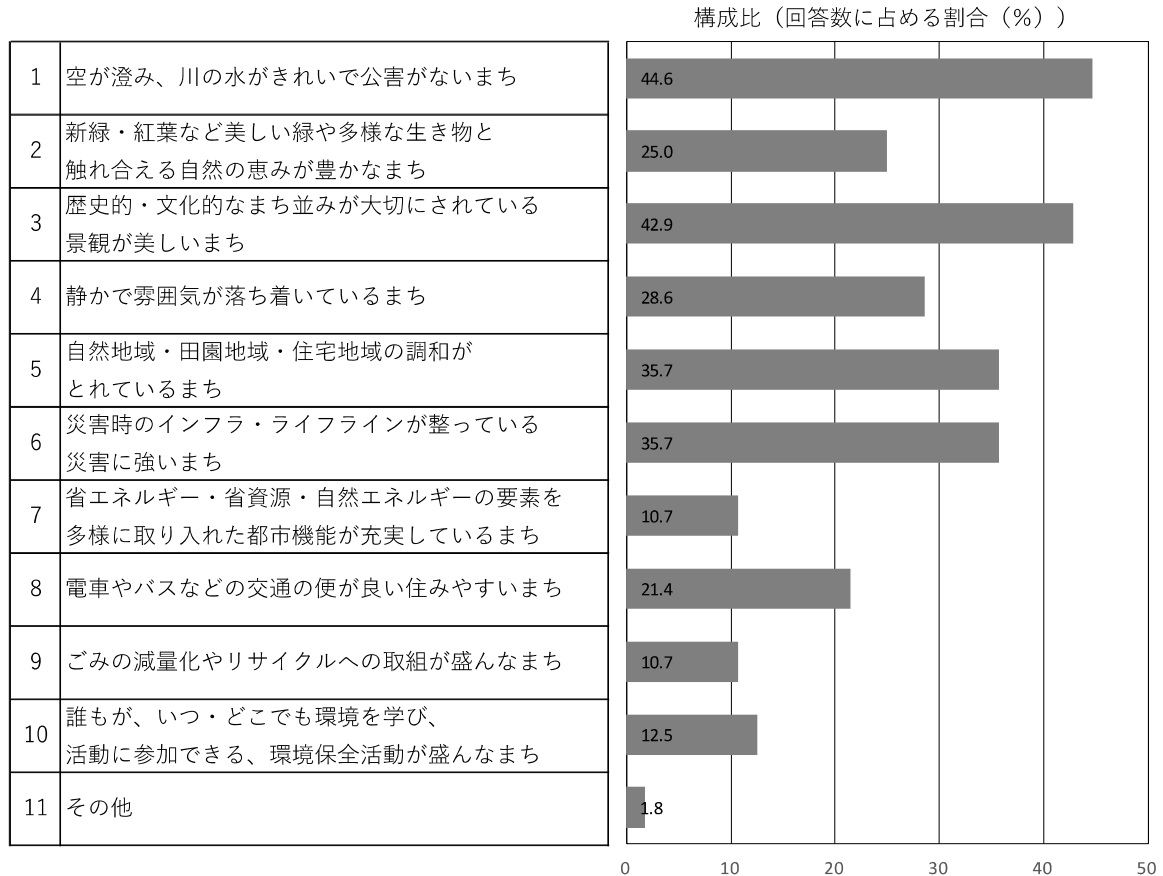
上位3位までの項目は、「11. 洪水や内水(浸水害)のリスクの増加」の41.1%、「12. 強風被害の増加」の39.3%、「13. 土砂災害の発生形態、発生地域の変化」の37.5%となっています。

構成比（回答数に占める割合（％））



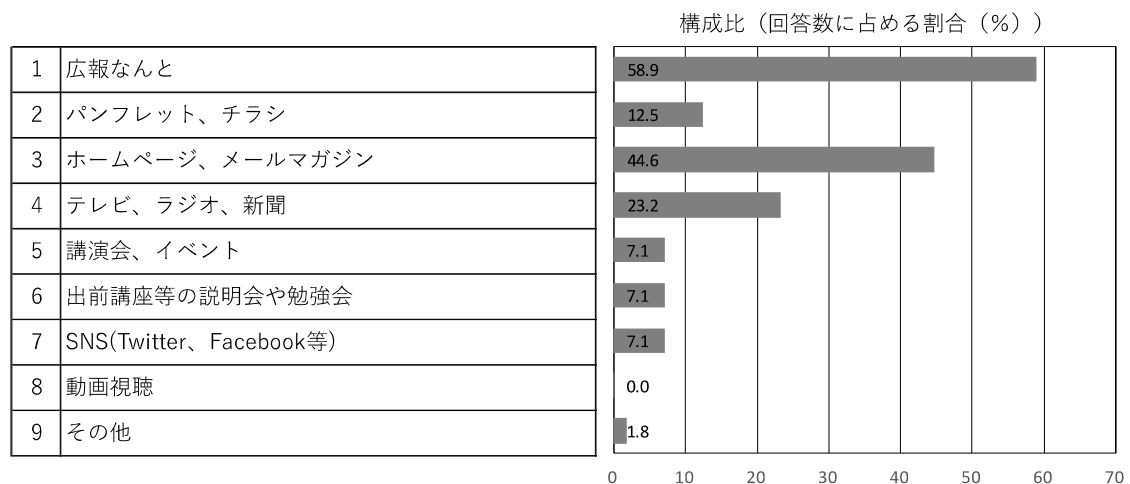
〔問7〕貴事業所が望む南砺市の将来の環境イメージとして、近いものはどれですか。【〇は3つまで】

上位3位までの項目は、「1. 空が澄み、川の水がきれいで公害がないまち」の44.6%、「3.歴史的・文化的なまち並みが大切にされている景観が美しいまち」の42.9%、「5.自然地域・田園地域・住宅地域の調和がとれているまち」と「6.災害時のインフラ・ライフラインが整っている災害の強いまち」の35.7%となっています。



〔問8〕南砺市の環境情報の入手手段として、最も利用する(したい)方法はどれですか。【〇は2つまで】

上位3位までの項目は、「1. 広報なんと」の58.9%、「3.ホームページ、メールマガジン」の44.6%、「4.テレビ、ラジオ、新聞」の23.2%となっています。



(3) こども意識調査結果

■ 調査概要

調査対象	市内8校の中学2年生(394人)、及び9校の小学5年生(372人)全員(計766人)
調査期間	令和3(2021)年6月16日～6月28日
調査方法	各学校の協力を得て配布・回収
回収結果	734件(95.9%)

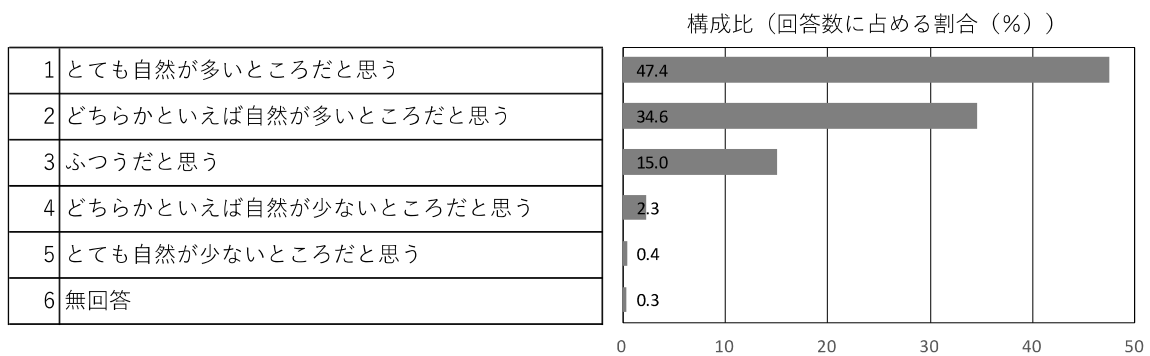
＊ 調査結果

※無回答には無効票扱いしたものを含みます。

[問1] あなたは、自分の住んでいるところは自然が多いと思いますか。【○を1つ】

「1.とても自然が多いところだと思う」と「2.どちらかといえば自然が多いところだと思う」で82.0%と半数以上を占めています。

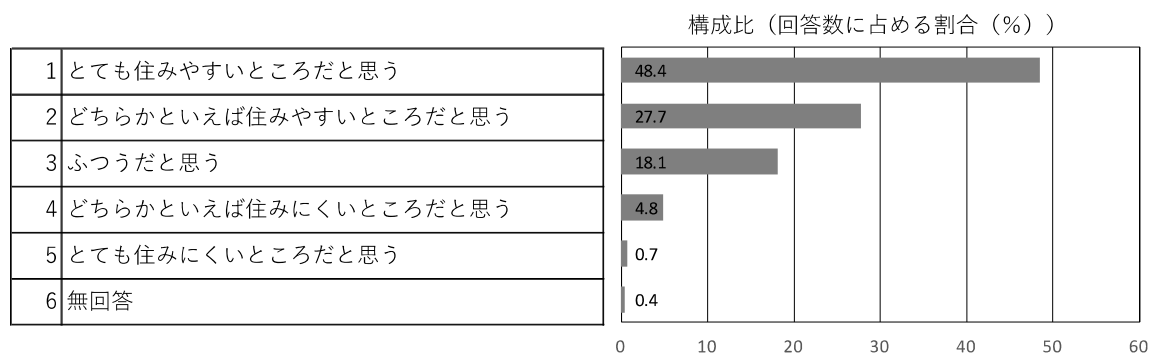
前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



[問2] あなたは、自分の住んでいるところが住みやすいと思いますか。【○を1つ】

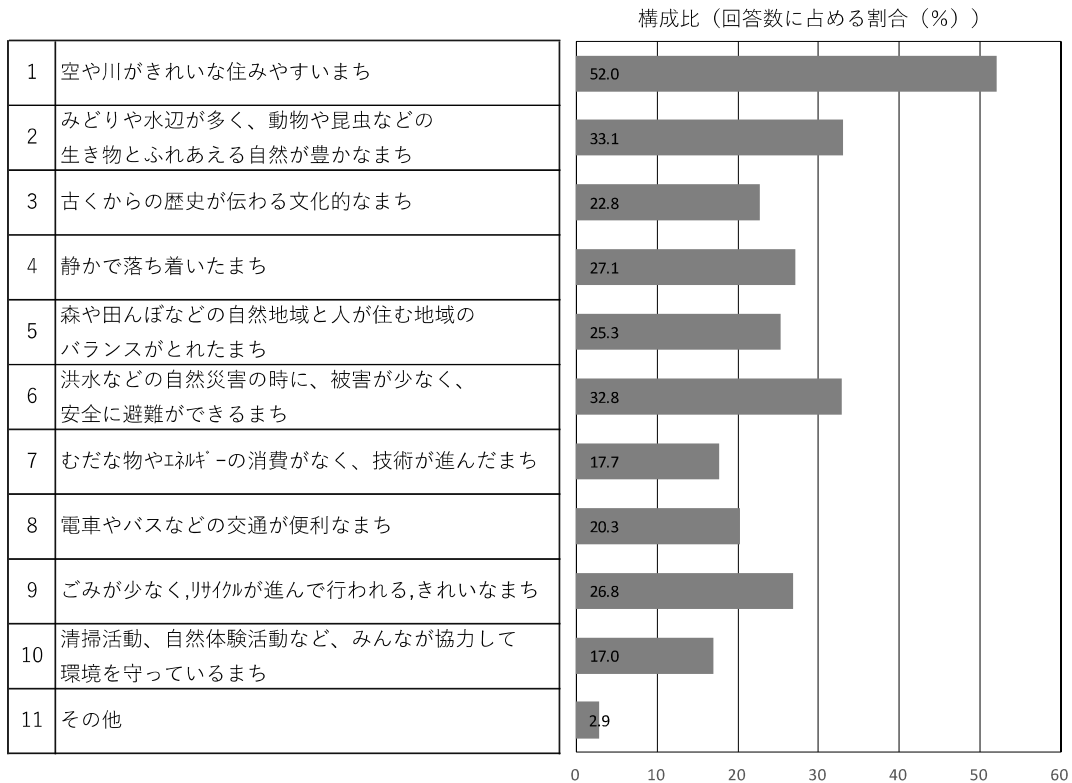
「1.とても住みやすいところだと思う」と「2.どちらかといえば住みやすいところだと思う」で76.1%と半数以上を占めています。

前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



〔問3〕これからの南砺市がどのようなまちになっていけば良いと思いますか。【○は3つまで】

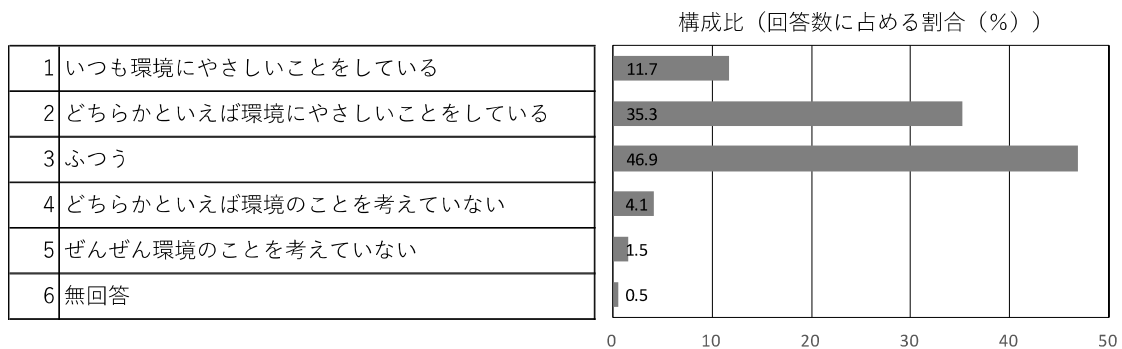
上位3位までの項目は、「1.空や川がきれいな住みやすいまち」の52.0%、「2.みどりや水辺が多く、動物や昆虫などの生き物とふれあえる自然が豊かなまち」の33.1%、「6.洪水などの自然災害の時に、被害が少なく、安全に避難ができるまち」の32.8%となっています。



〔問4〕あなたは、日ごろの生活で環境にやさしいことをしている方だと思いますか。【○を1つ】

「3.ふつう」の割合が最も多く46.9%、次いで「2.どちらかといえば環境にやさしいことをしている」の割合が多く35.3%となっています。

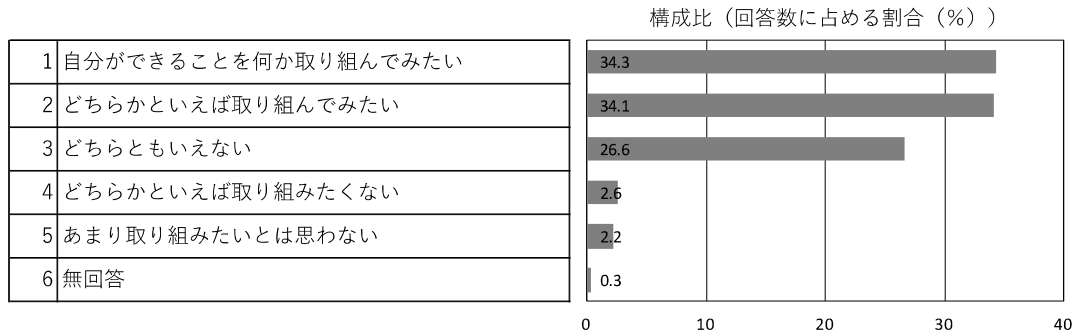
前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



〔問5〕あなたは、家族や友達といっしょに環境を守る活動（木や花を育てる、生きものを増やす、ごみ拾い、公園の清掃、リサイクルなど）に取り組みたいと思いますか。【○を1つ】

「1.自分ができることを何か取り組んでみたい」と「2.どちらかといえば取り組んでみたい」で68.4%と半数以上を占めています。

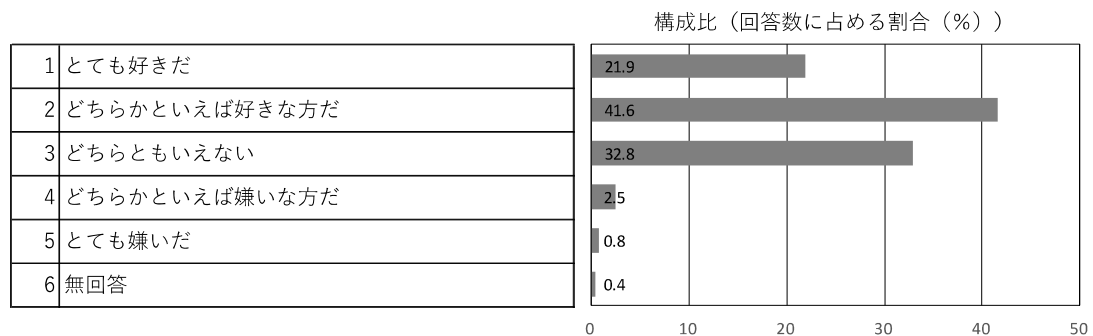
前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



〔問6〕あなたは、環境を守ることの大切さを学ぶのが好きですか。【○を1つ】

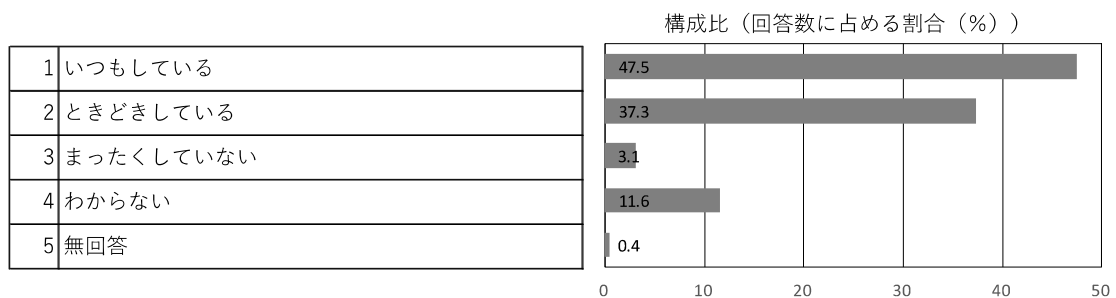
「2.どちらかといえば好きな方だ」の割合が最も多く41.6%、次いで「3.どちらともいえない」の割合が多く32.8%となっています。

前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



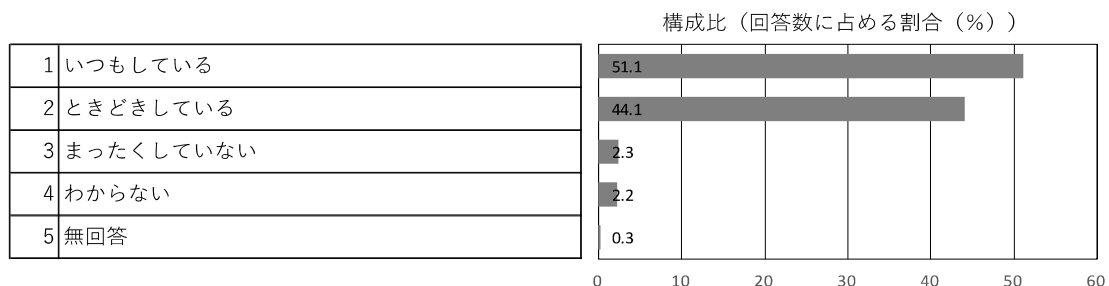
〔問7〕あなたは、リサイクルできるごみとほかのごみを分けて捨てていますか。【○を1つ】

「1.いつもしている」と「2.ときどきしている」で84.8%と半数以上を占めています。



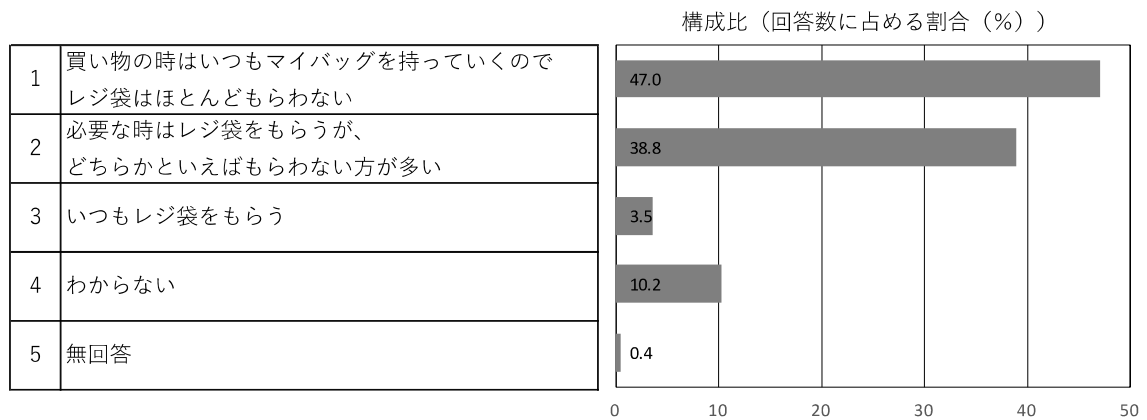
〔問8〕あなたは、日ごろの生活で、むだな電気や水道を自分から進んで消したり止めたりしていますか。【○を1つ】

「1.いつもしている」で51.1%と半数以上を占めています。



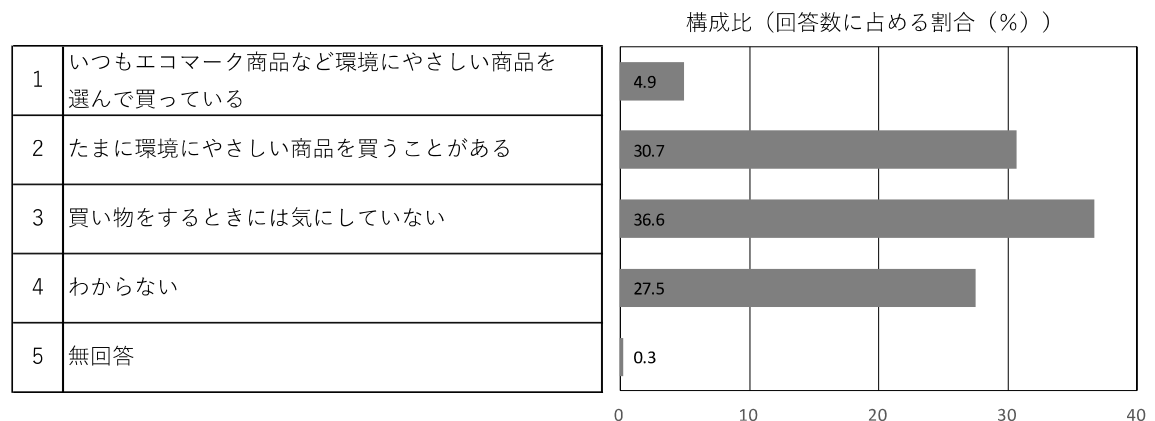
【問9】あなたは、お店で買い物をする時にマイバッグを持っていき、レジ袋をもらわないようにしていますか。
【○を1つ】

「1.買い物の時はいつもマイバッグを持っていくのでレジ袋はほとんどもらわない」と「2.必要な時はレジ袋をもらうが、どちらかといえばもらわない方が多い」で85.8%と半数以上を占めています。



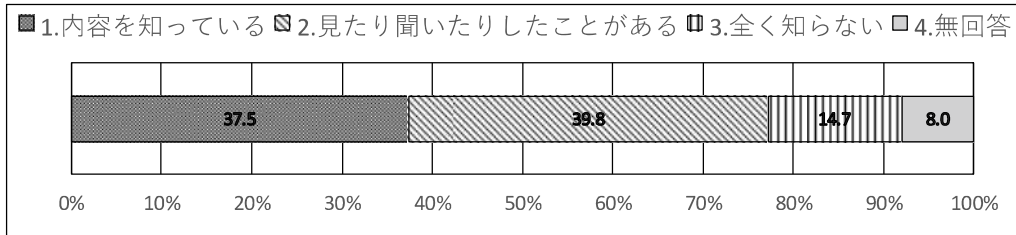
【問10】あなたは、買い物をする時、エコマークのついた商品など、環境にやさしい商品を選びますか。
【○を1つ】

「3.買い物をするときには気にしていない」の割合が最も多く36.6%、次いで「2.たまに環境にやさしい商品を買うことがある」の割合が多く30.7%となっています。



〔問11〕あなたは「持続可能な開発目標（SDGs）」を知っていますか。【1つだけに○】

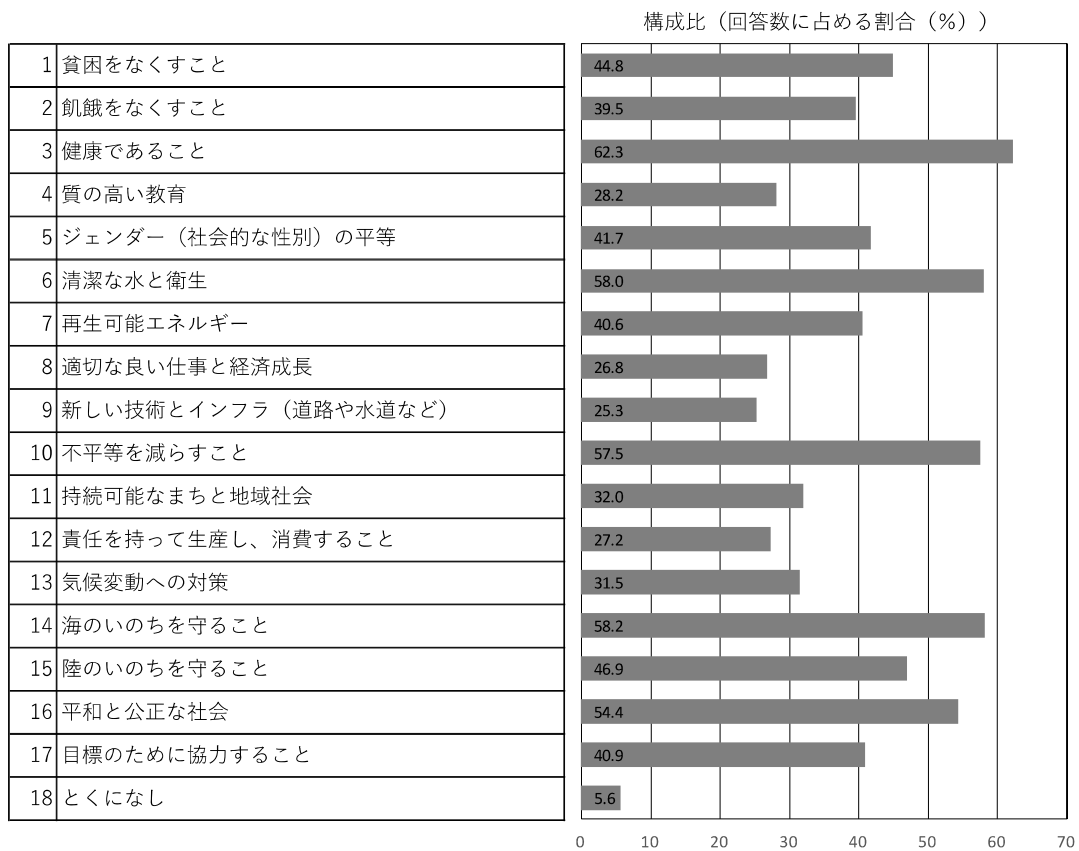
「1.内容を知っている」が37.5%とやや多い傾向にあります。



〔問12〕SDGsの17の目標のうち、関心のあるものはどれですか。【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「3.健康であること」の62.3%、「14.海のいのちをまもること」の58.2%、「6.清潔な水と衛生」の58.0%となっています。

半数を超える目標は5つとなっており、関心のある目標が多くなっています。



ア行

温室効果ガス

太陽光線により暖められた地球は、赤外線として熱を放射するが、その熱を吸収し地球温暖化の原因となるガスのことで、地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の 7 物質を「温室効果ガス」と定義。

エコビレッジ構想

エコビレッジにおける地域づくりの基本的な考え方やその実現に向けた取り組みを示すもので、まず、取り組みのモデル（桜ヶ池エコビレッジモデル）を創り出し、さらには、市内各地へとそれぞれの地域特性に応じたエコビレッジの展開を図り、将来は、市全体が新たな暮らし方を実現する、全国に先駆けた地域となることを目指している。

エコファーマー

平成 11 年 7 月に制定された「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（持続農業法）」第 4 条に基づき、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を都道府県知事に提出して、当該導入計画が適当である旨の認定を受けた農業者の愛称名。

カ行

化学的酸素要求量（COD）

COD は Chemical Oxygen Demand の略。海水などに含まれる被酸化性物質（主として有機物）を、酸化剤を用いて一定の条件のもとで酸化するときに消費される酸化剤の量を、酸素の量に換算したものの。

カーボンニュートラル

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの責任と定めることが一般に合理的と認められる範囲の温室効果ガス排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること、または他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部を埋め合わせた状態。

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステムは、組織の最高責任者が「環境方針」を策定し、その実現に向け、目的・目標を設定した「計画（Plan）」を作成、それを「実施及び運用（Do）」し、結果を「点検及び是正処置（Check）」した上で、「見直し（Act）」を繰り返す「PDCA サイクル」により環境活動を推進することで、環境に与える負の影響を継続的に改善する仕組みのこと。

気候変動

自然的要因や人為的要因により気候が変動すること。近年は、地球温暖化に伴う気候変動が顕在化しつつあると考えられており、平均気温の上昇のほか、台風の大規模化や大雨・局地的豪雨の発生頻度の増加、降水量の減少など様々な気候変動が観測されている。

グリーン成長戦略

経済成長と環境適合を循環させる政府の指針で、2050 年に向け、技術革新を通じて今後の成長が期待される 14 の重要分野ごとに、高い目標を掲げた上で、現状の課題と今後の取組を明記し、予算、税、規制改革・標準化、国際連携など、あらゆる政策を盛り込んだ実行計画を策定。

グリーン調達

製品単位の環境負荷に関する要求事項のみではなく、取引先全体の環境経営を評価に入れた環境配慮型の調達。

サ行

再生可能エネルギー

自然エネルギーとほぼ同義で、太陽光、風力、水力、地熱、空気熱、バイオマス（木材、廃棄物等）など、自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出す、枯渇しないエネルギーを意味する。

生物化学的酸素要求量（BOD）

BOD は Biological Oxygen Demand の略。水に含まれる汚染物質を生物が分解するのに必要な酸素の量のこと。

生物多様性

生命の豊かさを包括的に表した広い概念で、生態系の多様性、種の多様性、遺伝的多様性という 3 つの階層で多様性をとらえ、それぞれの保全が必要とされている。

夕行

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）及びコブラナーポリ塩化ビフェニル（コブラナーPCB）をいい、プラスチックや漂白された紙を燃やした場合など、廃棄物の焼却過程で主に生成される毒性の強い物質。分子構造の違いによって、PCDD は 75 種類、PCDF は 135 種類、コブラナーPCB は十数種類あり、それぞれ異なる毒性をもっている。急性毒性、慢性毒性、発ガン性、生殖毒性・免疫毒性、催奇形性があると考えられていて、具体的には心筋障害、肝臓の代謝障害、免疫異常、子宮内膜症などの影響の恐れがある。

第2次南砺市総合計画

南砺市の将来像を明確にし、それを実現するための目標と市の取り組み方針を示すために、市民と行政とが共有できる市の将来像や目標を示した、地域全体で目指す計画（南砺まちづくりビジョン）と南砺まちづくりビジョンで掲げた目標を達成し、将来像を実現するために、重点的に取り組む政策や施策を示した、行政が取り組む計画（南砺まちづくりプラン）の2つによって構成し、策定したものである。

第2次南砺市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

温対法第 21 条では、地方公共団体に対し、「国が定める地球温暖化対策に関する計画に即して、都道府県及び市町村の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画」を策定するものとなっており、市役所の行政事務及び事業全般において取り組むべき温室効果ガスの排出抑制施策（温室効果ガスの排出量算定、削除目標・方針の検討、マネジメント体制の構築）を実行計画として取りまとめたものである。

脱炭素社会

化石燃料への依存を低下させ、再生可能エネルギーの導入やエネルギー利用の効率化等を行うことにより、二酸化炭素の排出が実質ゼロとなる社会のこと。

食べきり3015運動

富山県の最高峰である立山の標高 3015 メートルにちなんで、「食べきり 3015」と「使いきり 3015」の 2 つの取り組みからなる運動である。

地球温暖化

人間の活動の拡大により、二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中の濃度が増加し、地表面の温度が上昇すること。地球規模での温暖化が進むことで、海面上昇や干ばつなどを引き起こし、人や生態系に大きな影響を与えることが懸念されている。

とやまエコ・ストア制度

平成 20 年から全国初となる県下全域でのレジ袋の無料配布廃止を開始し、こうした取り組みをさらに一歩進め、エコライフの一層の定着・拡大を図るため、レジ袋無料配布廃止に加え、資源物の店頭回収、環境に配慮した店舗空調温度の設定など、消費者と協働で環境配慮行動に積極的に取り組む小売店舗を登録する制度を平成 25 年 8 月に創設した。

とやま環境チャレンジ10

県内の 10 歳の児童（小学校 4 年生）が、地球温暖化問題を学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取り組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルへの理解を促し、家庭における地球温暖化対策の定着を図っている。

富山県気候変動適応センター

令和 2 年 4 月 1 日から、気候変動適応法に基づき、気候変動に関する情報収集、分析、情報提供を行っている。

富山県地球温暖化防止活動推進員

温室効果ガスを削減するための活動を普及・推進するため、各小学校において地球温暖化問題やチャレンジ 10 の進め方等について講習等を行っている。

八行

バイオマス

生物（バイオ）を起源としたまとまった量（マス）の有機物の意味で、エネルギーの原料としては木、穀物、糞尿、植物油、藻などがある。

フードバンク

安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミス等の理由で、流通に出すことができない食品を企業等から寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動のこと。

ふるさと認証食品制度

安全安心・本物志向などの消費者ニーズが高まる中、富山県では、県内で生産される良質な農林水産加工食品について基準を定め、この基準を満たした食品に認証マーク（通称：E マーク）を付けることにより、県産特産品のイメージアップを図り「とやまの特産品」として全国に情報発信している。

フロン

正式にはクロロフルオロカーボンといいます。熱媒体（冷房・冷蔵）や電気部品の洗浄剤、噴霧（スプレー）などに使用されていましたが、オゾン層破壊や地球温暖化の原因物質であることが判明してから使用制限や適正な廃棄・回収が行われています。特にオゾン層を破壊する作用の強いフロンを「特定フロン（CFC）」と呼んでいる。

マ行

木質ペレット

乾燥した木材を細粉し、圧力をかけて直径 6 ～8mm、長さ5～40mm の円筒形に圧縮成形した木質燃料で、主にストーブやボイラーの燃料として利用されている。

アルファベット

COOL CHOICE

2030 年度に温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択等、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしているという取組のこと。

ISO14001

国際標準化機構（ISO）が定めた環境を保護し、環境パフォーマンスを向上させるためのマネジメントシステム規格。あらゆる種類の組織が、社会経済的ニーズとバランスをとりながら、自主的に環境を保護し、変化する環境状態に対応するための枠組みを示している。

記号

3R

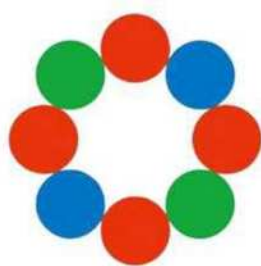
3R（スリーアール）は、①発生抑制（リデュース(Reduce)；減らす)、②再使用（リユース(Reuse)；繰り返し使う)、③再生利用（リサイクル(Recycle)；再資源化する）の 3 つの頭文字をとったもので、循環型社会構築に関するキーワード。

第2次南砺市環境基本計画

2022年3月

編集・発行

南砺市総合政策部 エコビレッジ推進課
〒939-1692 富山県南砺市荒木 1550 番地
TEL 0763-23-2050 FAX 0763-52-6338
URL <https://www.city.nanto.toyama.jp>



南阳市